

おとな
女子
登山部

好日山荘おとな女子登山部と行く！
ダイナミックなプリンスルートで登る

日本最高峰へ挑もう！富士山(3,776m)

一生に一度は富士山に登りたい！吉田口登山道と違い登山者も少なめで、宝永火口など大きな富士山を体感できるコースの“プリンスルート”。今年、おとな女子登山部と一緒に最高峰の剣ヶ峰を目指しましょう！

期 日：7月15(土)～7月16日(日)

※原則として雨天の場合も実施致します。

集 合：午前10時10分 東海道新幹線新富士駅
又は午前11時30分 富士宮口五合目

※どちらか事前にお選び下さい。

解 散：午後1時30分頃 御殿場口新五合目
又は午後3時頃 東海道新幹線新富士駅

※どちらか事前にお選び下さい。

募集人員：20名様(最少催行人員8名様)

受講料：22,000円(部員価格)

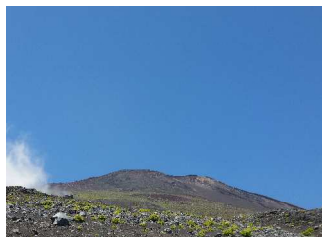
23,000円(一般価格)

同 行：公益社団法人日本山岳ガイド協会認定ガイド

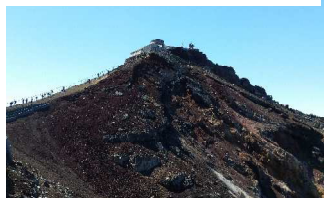
※旅行代金に含まれるもの：

ガイド同行費・保険料・山小屋宿泊費(砂走館/1泊2食付)

●富士山保全協力金 1,000円は当日各自ご負担下さい。



(七合目からの富士山イメージ)



(剣ヶ峰・イメージ)

<プリンスルートとは>

コースのプリンスルートは皇太子殿下が富士山に初登頂されたときのルートで、江戸時代に噴火した際の宝永火口を通り、駿河湾を見下ろしながら登るダイナミックなコース。混雑も他のコースに比べ少ないうえ、頂上の中でも最高地点である剣ヶ峰(3,776m)までダイレクトに到達、日本のでっぺんに立つ事ができます。下りの豪快な大砂走りも楽しみのひとつ。せっかくですから雄大な富士山をとことん味わいましょう！！

おとな女子登山部は、
荻野なずな部長&なっちゃん
が同行予定です！！

行 程：①新富士駅(10:10 集合)又は富士宮口五合目(11:30 集合)・・・六合目・・・宝永山・・・七合五勺・砂走館(泊)

②明け方出発(ご来光は小屋の前もしくは途中の小屋で見る予定です)・・・頂上(剣ヶ峰)・・・下山道・・・大砂走り・・・

御殿場口新五合目又は東海道新幹線新富士駅 [歩行時間1日目:約3時間30分 2日目7時間20分]

※新富士駅⇄各登山口まではタクシー移動です。タクシー代は当日皆様で折半(片道あたり2300円程度)となります。

■国内旅行傷害保険について：「好日山荘登山学校」の実技講座では安心のためアトラストレックが契約者となり予めご旅行代金に保険を付与しておりますので、下記補償内容、保険料をご確認ください。

●死亡・後遺障害保険金額 300万円 ●入院保険金日額 4,500円 ●手術保険金 入院保険金日額の10倍(入院中の手術)または5倍(入院中以外の手術)の額をお支払いします。 ●通院保険金日額 3,000円 ●賠償責任保険金額【※免責金額(自己負担額)：0円】1,000万円

●携行品損害保険金額【※免責金額(自己負担額)：3,000円】5万円 ●救援者費用等保険金額 100万円
(保険料1泊2日まで426円・3泊4日まで506円・6泊7日まで589円)

※この保険は、株式会社アトラストレックを保険契約者として同社が主催する募集型企画旅行に参加の参加者全員を被保険者とする包括契約です。原則として、契約者が契約内容変更に関する請求権、解約請求権等を有します。

◆当日ご持参いただく装備と服装(○は必要な装備、△はあると便利な装備)◆

用具	登山靴	○	足首まで保護できるトレッキングブーツ	その他	ヘッドランプ	○	早朝、日暮れや夜間の行動に備えて
	バックパック	○	25ℓ～30ℓ程度の物		替え電池	○	ヘッドランプ用
	レインカバー	△	バックパックのサイズに合わせた物		地図	○	エリアの1/25000 地形図
	トレッキングポール	△	膝の負担を和らげます。プロテクター(先端保護)も		コンパス	○	プレートコンパス
服装	ミドルレイヤー	○	素早く汗を吸い、乾きの早い素材のシャツやパンツ		保険証	○	万が一に備えて。コピーでも可
	サーマルレイヤー	○	フリースジャケット、ダウンジャケット等保温性のある物		救急用具	○	絆創膏や持薬など。ファーストエイドキット
	ベースレイヤー	○	化繊やウールなど、汗を吸収し蒸発させる素材		防水バック	○	衣服などを濡らさないように
	グローブ	○	防寒性のある薄手のグローブ		ビニール袋	○	ゴミ袋に
	帽子	○	日除けや頭の保護に		日焼け止め	○	お肌の保護に。リップクリームも
	レインウェア	○	防水性・透湿性のある、上下セパレートタイプ		タオル	○	汗拭きに
	サングラス	○	紫外線など目の保護に		虫よけスプレー	○	ハッカ油など
	ゲイター	○	砂の靴へ侵入を防ぎます		ポケットティッシュ	○	
	靴下	○	ウールなど保温性とクッション性の高いもの		携帯用酸素	△	
食べる	水筒	○	1ℓ以上。ハイドレーションがおすすめ		マスク	△	砂ほこり除けに
	サーモボトル	△	保温水筒。温かい飲み物を入れて				
	行動食	○	アメなど歩きながらでも食べられるもの				
	昼食	○	オニギリやパンなど調理しなくてもよいもの				